

目標の設定及び達成に向けた考え方について(区作成)

【旭区】(受託者:大阪市コミュニティ協会・関西総合研究所共同体)

		区の考え方等
1 地域課題・ニーズ等の状況について		平成27年推計の65歳以上の人口比率が29.8%(24区中4番目)と高齢化が進んでおり、災害時に支援が必要な区民への対応が求められている。 近年、25歳から39歳台の人口減少が顕著で担税力のある世代が減っているため、賑い創出や地域活性化に不可欠な若い世代の定住促進が望まれている。
2 当事業によりめざす状態	校区等地域において、各種地域団体等の多様な主体が、地域社会の将来像を共有しながらそれぞれ特性を發揮し、校区等地域におけるさまざまな地域課題の解決に取り組めるような状態	【現在の状況】 ・達成:0地域
3 当事業の目標		
(1) 中長期の目標	ア 平成29年度末までに、次の3つの目標を達成して、当事業を終了する。	
	(ア)自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」の第2ステージ全項目達成	【現在の状況】 ・達成:0地域 未達成:10地域
	(イ)校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自ら地域課題の解決に取り組むなど、地域が自律的に運営されていると感じている割合 60%以上	【現在の状況】 まちづくりセンターの支援により、皆さんの地域において、支援を受ける前よりも自律的な地域運営に取り組んでいると思いますか。(問4) 40.7%(①そう思う 23.3% + ②ややそう思う 17.4%)
	(ウ)地域活動協議会が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている割合80%以上	【現在の状況】 まちづくりセンターの支援は、地域の皆さんの活動に役に立ちましたか。(問1) 70.4%(①そう思う 32.1% + ②ややそう思う 38.3%)
(2) 平成28年度目標		
	ア 「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」	【現在の状況】 ・達成:4地域 未達成:6地域 (うちステージ2の6項目達成は4地域)
	イ 利用者アンケート調査	
	(ア) 自律的な地域運営	【現在の状況】 まちづくりセンターの支援により、皆さんの地域において、支援を受ける前よりも自律的な地域運営に取り組んでいると思いますか。(問4) 40.7%(①そう思う 23.3% + ②ややそう思う 17.4%)

		区の考え方等	
	(イ) 中間支援組織の活用	地域活動協議会が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている割合70%以上	【現在の状況】 まちづくりセンターの支援は、地域の皆さんの活動に役に立ちましたか。(問1) 70.4%(①そう思う 32.1% + ②ややそう思う 38.3%)
	ウ 区独自目標(仕様書記載)	-	【現在の状況】 -
	エ 区独自目標(協議により設定)	-	【現在の状況】 -
		-	【現在の状況】 -
4 地域活動協議会の現在の状況	「組織運営」については、概ね7割程度達成。支援を一部受けながらであればすべて実施可能。 今後は、「地域課題への取組」「つながりの拡充」を重点的に進めていく必要がある。		
3及び別紙「地域活動協議会の状況と事業実施成果のデータ等を踏まえ分析			
5 当事業による支援の方針	「地域課題への取組」「つながりの拡充」の課題解決に向けた支援を重点的に進めていく。 自律に向けたニーズ把握と、地域に応じたきめ細やかな支援を行う。		
6 目標達成に向けた戦略	将来ビジョン及び地域課題等の把握のためのワークショップの開催。 より幅広い現役の地域活動者層が担い手として活躍できる機会になるような「まちづくりラウンドテーブル」の開催。 横のつながり強化(部会活動への支援・参画)及び、自立に向けた積極的支援(会計・広報)。		

↓

「受託者の企画提案(事業計画)等について」(様式6)へ